

安心・充実の旅

●ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社タビーズ（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、株式会社ユーラストラベルが問合せ・申込みを受け付けます。

条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表＝確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2019年3月25日を基準としています。また、この旅行代金は2019年3月25日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2019年3月25日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】4/27～5/6、7/20～8/31、12/20～1/7に開始する	旅行代金の10%

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内ー安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続料金は、そのまま申し受けます。
●旅行代金に含まれるもの（一部例示）
・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
・食事代：旅程に表記のもの
・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ
●旅行代金に含まれないもの（一部例示）
・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
・渡航手続費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
・超過手荷物料金：規定重量・大きさ・個数を超える分

・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
・一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
・空港施設使用料、航空保険料および保安料
・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金
●その他（１）旅行代金はお一人分を表示しています。（２）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。
●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続きいただきます。
●時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜	
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時	4時

●お問合せ・申込先

“いい旅” 育てて 58 年

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会 正会員
株式会社ユーラストラベル 総合旅行業務取扱管理者：榊原 晋治

ユーラス ユーラス ツアーズ

☎ 03-6453-6633
FAX 03-6453-6630

●担当部署
営業部 団体旅行課
担当：榊原

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9 階

ホームページ

https://www.euras.co.jp

tokyo@euras.co.jp

●営業日：平日（月～金曜日）09:00～17:30
●土・日曜日・祝日は休みです ※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡なく上記の取扱管理者へお尋ねください。

●旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会 正会員

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9 階

●お申込方法

- 1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください
下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。
- 2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内
「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行傷害保険申込書等をお送りします。
※お書類到着後に条件を確認いただき、正式申込みの手続きをお願いします。
- 3 正式申込み手続き（下記①と②が旅行社に到着次第、正式申込み完了）
①正式申込書：ご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
②申込金（費用内金）：50,000円を下記口座へお振込みください。
▶口座名義：（株）ユーラストラベル
●ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002（〇一九店）
●みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507
●りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149
※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替わりとしています。旅行社が発行する領収書が必要な場合はお申し出ください。

参加予約票

ドイツの廃炉とエネルギー政策・環境都市フライブルク

①	氏名 (漢字)	姓 名	氏名 (ローマ字) パスポート同様	ローマ字 (姓) ローマ字 (名)	電 話	F A X
	住 所				携 帯	メー ル
②	氏名 (漢字)	姓 名	氏名 (ローマ字) パスポート同様	ローマ字 (姓) ローマ字 (名)	電 話	F A X
	住 所				携 帯	メー ル

●この旅行を知ったきっかけ：□後援団体の案内⇒団体名（ ） ●ユーラスツアーズの利用：□ある □はじめて
●一人部屋希望：□する □しない⇒同室希望者：□いる（お名前： ） □いない ●出発前日宿泊予約（約5～8,000円）：□する □しない

STUDY TOUR 9日間

福島原発事故をきっかけに原発の全面廃止を決定したドイツ！
脱原子力政策の決定から4年～国民的合意が揺るがない想いと実態を見聞

理学博士
安部 恒三氏
同行・解説
日本原子力協常任理事
原住連代表委員 日本
ユーラシア協会
全国理事

ドイツの廃炉と エネルギー政策・ 環境都市フライブルク

ドイツ第一の環境都市として知られるフライブルク、そしてワンダーフォーゲルの聖地”黒い森”を訪問します。
原発問題でも福島事故をいち早く政策にとり込んで、世界の先端を走るドイツ。福島事故の後始末として、重要な廃炉の様子を見学してきます。
フライブルクの先進的環境政策も学習する内容となっています。また、小旅行もおススメです。
多くの方々の参加をお待ちしております。 安部 恒三

- ライン川沿いの廃炉となった原発を訪れ、関係者からのレクチャーと見学
- 環境都市と呼び声高いフライブルクを訪問！再生エネルギー・街づくり・教育の政策を学ぶ
- 古城街道の起点・旅情あふれるハイデルベルク、中世の木組みの街フランスのストラスブールなど見どころも逃さず見学！

問合せ
申込先

ユーラスツアーズ

後援
団体

- 日本ユーラシア協会
- 原発問題住民運動全国連絡センター

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2019年 11月6日 Ⓜ ～ 11月14日 Ⓜ 9 日間
旅行代金	367,000 円 ※2名1室利用（子ども料金設定なし）
実施人数	30 名様（最小催行人数： 20 名様） ※20名様未満の場合は、旅行費用変更を通知～ご参加の有無を伺います
申込締切	8月20日 Ⓜ（※定員になり次第、締め切ります）
別途費用	●燃油サーチャージ： 43,500 円 ●訪問国諸税： 14,290 円 ●成田空港施設使用料： 2,610 円 ●国際観光旅客税： 1,000 円
一人部屋追加料金	52,000 円（※相部屋の方がいない場合も要追加料金）
日本発着空港	成田空港

●利用予定航空会社：**エアフロート・ロシア航空**
（スカイチーム・グループ）

※往路出発予定時刻：午後**13時10分**
（集合：午前**11時10分**予定）

※復路到着予定時刻：午前**11時40分**予定

▶団体座席につき、事前座席指定は不可となります。
出発当日に成田空港で各自チェックイン時に係員に希望をお伝えください。

（予約状況によっては希望が通らない場合有）

- 宿泊予定ホテル：※バスタブのない場合があります。
・**ハイドルベルク**（クラウン・プラザ★★★★）
・**ストラスプール**（ル・グラン★★★★～★★★★）
・**フライブルク**（ノボテル★★★★）

●添乗員：1名同行（成田発着）

スケジュール／食事（朝昼夕）／宿泊地	
1	成田空港（13:10）発 ➡ 空路、ロシアの首都モスクワ（10h25m）へ モスクワで乗継手続き～ ➡ 空路、 フランクフルト （3h35m）へ ■夜：🚆 ハイドルベルク （約80 [＊] ）へ 🏠🚶🚶 ハイドルベルク 泊
2	■午前：陸路 🚆 ライン川沿いにある原子力発電所（約30 [＊] ）へ ■終日： フィリップスブルク原子力発電所の訪問 （予定） ▶ 関係者からによるレクチャー （廃炉が決定した沸騰水型原子炉） ▶ 2021年に廃炉予定の原子炉について （加圧式原子炉） ■午後：陸路 🚆 ハイドルベルク へ 🏠🏠🏠 ハイドルベルク 泊
3	■午前： ハイドルベルク城の見学 =街を見下ろす城の◎ パルコニー 、 ● ワインの大樽 、城内の● ドイツ菓子博物館 ■午前： ハイドルベルク市内見学 =バロックの美しい尖塔の◎ 聖霊教会 、◎ 騎士の家 、◎ マルクト広場 、◎ 市庁舎 、● プファルツ選帝侯博物館 🏠🏠🏠🏠 ハイドルベルク 泊
4	■早朝：陸路、🚆 ローマ時代からの由緒ある温泉街へ （約91 [＊] ） ■着後： バーデン・バーデンの見学 =◎ 市庁舎 、◎ マルクト広場 、◎ フリードリヒ浴場 、ローマのカラカラ帝も湯治にきた◎ カラカラ浴場 ■午後：陸路、🚆 古来より交通の要衝としての歴史あるフランスのストラスプールへ （約58 [＊] ） 🏠🏠🏠🏠 ストラスプール 泊
5	■午前： ストラスプール市内見学 =● ノートルダム大聖堂 、18世紀の司教宮殿◎ ロアン宮 、白壁に黒い木組みの家並み◎ プチ・フランス ■午後： 自由行動 =巨匠の作品を展示する現代美術館など OP （オプション・ツアー）中世ルネッサンスの街並みが残る コルマールへの小旅行 （専用車・日本語ガイド・昼食付） 🏠🏠🏠🏠 ストラスプール 泊
6	■早朝：陸路、🚆 森と清流の環境都市フライブルクへ （約90 [＊] ） ■午前： 環境都市フライブルクの政策について訪問交流 （市訪問予定） ▶ 原発から再生可能エネルギーを選択した経緯と実態について ▶ 太陽光・太陽熱利用を促進する政策について ■午後： 環境都市フライブルクの街づくりと市内見学 （同行ガイド案内） ▶ 公共交通機関・自転車・徒歩を基本とした街づくりと市内見学 （◎ 大聖堂 、◎ 商館 、◎ マルクト広場 ） 🏠🏠🏠🏠 フライブルク 泊
7	■午前： 環境教育センターの訪問 （センター訪問予定／あるいは自由行動） ▶ 子どもたちへの自然・環境教育について ■着後： 自由行動 =旧市街の散策などお楽しみください。 OP （オプション・ツアー）”黒い森” シュバルツバルトへの小旅行 =● シュバルツバルト野外博物館 （専用車・日本語ガイド・昼食付） 🏠🏠🏠🏠 フライブルク 泊
8	■早朝：陸路、🚆 フランクフルト （約260 [＊] ）へ ■午前：フランクフルト発（11:15） ➡ 空路、モスクワ（3h10m）へ モスクワで乗継手続き～発 ➡ 空路、 成田 （9h45m）へ 🏠🏠🏠🏠 機 中 泊
9	■午前：成田（11:40）着 ■着後：入国手続き～通関審査～解散 🏠🏠🏠🏠

注：日程上の表記＝●印＝入場見学、◎印＝下車見学、○印＝車窓より見学

OP印＝希望者参加のオプションル・ツアー

🏠印＝機内食、🏠🏠印＝食事付、🏠🏠印＝自由食、✈印＝航空機、🚆印＝専用車、🚆🚆印＝列車

理学博士、日本化学会50年会員、全国花の色素研究者の会 会長
文化財保存修復学会会員

（あべ けんぞう）
同行講師 安部 愼三氏

日本原子協常任理事
日本ユーラシア協会全国理事
原発問題住民運動全国連絡センター代表委員

◎プロフィール

東京教育大学大学院理学博士課程修了 ～ 埼玉大学、明治学院大学、跡見短大、中央大学で講師を務め、日本科学者会議東京支部元部長を経て、現在は日本原子協常任理事、原住連代表委員、日本ユーラシア協会全国理事、日中友好協会東京都連常任理事、世田谷区内にて革新懇、9条の会、自治研などでも活動中。



街 中世の息吹を感じる情緒ある町々へ



●ハイドルベルク HEIDELBERG

★**古城街道の起点、古城と赤レンガの街**

古くから学生の町として知られるハイドルベルクは、70以上の中世の城や宮殿が右に左に現れる古城街道で有名な街。
ゲーテやヘルダーリン、ショパンなど多くの詩人や芸術家が愛し、後世に残る数々の芸術とロマンを生み出した場所でもある。
ネッカー川に架かるアルテ橋、古城と緑の丘が訪れる人を魅了している。

●バーデン・バーデン BADEN-BADEN

★**ローマ時代からの由緒ある温泉町**

ヨーロッパ屈指の温泉保養地として世界中から観光客がやってくる。「バーデン」はドイツ語で「入浴」を意味し、約2000年前の紀元前後にこの地で温泉が発見された。

ローマのカラカラ帝も湯治に来说とされる温泉をはじめ、いくつもの浴場と温泉が点在している。また様々な重要な国際会議が開催される街でもある。

●ストラスプール STRASBOURG

★**古来より交通の要衝として栄えた国境の町**

ドイツとの国境に位置し、「ヨーロッパの十字路」と呼ばれるほど、交通の要衝として栄えたフランスの町。

仏独間の抗争で翻弄されてきた場所ではあるが、現在では欧州会議や欧州人権委員会の本部が置かれ、ヨーロッパの未来を作り出す国際都市でもある。旧市街には木組みの建物が並び散歩道や大聖堂が見どころ。

●フライブルク FREIBURG

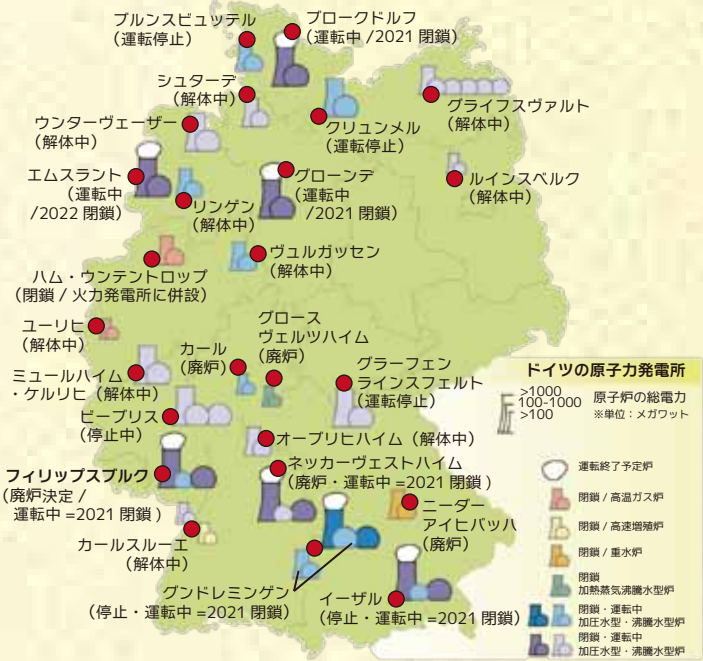
★**森と清流に恵まれた環境都市**

“黒い森”シュバルツバルトの南西部にある大学都市。モザイク模様の石畳とキリスト教世界で最も美しい塔といわれるドイツでも屈指の大聖堂が町のシンボル。

ウィーンのハプスブルク家の支配にあったためか、旧市街は優雅で落ち着いた雰囲気をもつ。王女マリー・アントワネットがルイ16世との婚礼のため旅立った地でもある。



炉 ドイツ国内で稼働・閉鎖している原子力発電所の分布図



訪 再生可能エネルギーを備えた環境都市フライブルクの街づくり

●公共交通機関と自転車・徒歩の街

公共交通機関を中心とした街づくり、緑の保護条例など先進の環境対策と快適性が世界から注目されている。

第二次大戦時に旧市街の80%を失ったこの都市は、戦後復興の際に昔の町並みを再興することを選択し、旧市街地区には徒歩中心、自動車進入を抑制。新興地域もトラムを中心に、自動車に依存しない交通計画や事前環境を維持するための施策に加え、住民参加の下、詳細な部分までが決定された。

●ドイツの再生可能エネルギー法の制定

2000年3月、原発廃止に伴うエネルギー源の多様化と持続的供給をめざすために再生可能エネルギー法が制定。この法律の目的は、大気保全、自然保護ならびに環境保護のために、エネルギー供給の持続的な発展を可能にし、再生可能エネルギーから電力を生産するための技術の発展を支援すること。そして再生可能エネルギーの割合について、2012年1月の改正後、電力供給の割合を2030年までに50%、2050年までに80%とした。

その後、電力分野以外にも風力、バイオマス、太陽光などの分野が発展している。

鑑 オプショナル・ツアーのご案内

フランス・ストラスプール滞在中の自由行動時とドイツ・フライブルク滞在中の自由行動にオプションル・ツアーを実施します。
童話に出てくるような「おとぎの街」を思わせる水と木組みの街と「黒い森」シュバルツバルトの歴史を伝える野外博物館を見学します。
是非ともお楽しみください。

中世ルネッサンス「水と木組みの家並み」コルマールへの小旅行

かつての神聖ローマ帝国の自由都市。823年からの歴史をもつ街でもある。

旧市街は、街中を流れる川と色とりどりの木組みの家並みが、まるでおとぎの世界にきたような情緒あふれる場所を半日かけて見学します。

- 日時：**11月10日**Ⓜ **13～18時頃**（約4～5時間）
- 料金：**9,800**円（※お一人様料金）
- 催行：**6**名様以上で実施
< **昼食・専用車・ガイド同行** 付 >



視 ドイツの脱原発と再生可能エネルギー福島第一原発事故が与えた影響

●福島第一原発事故が与えた世界の原発政策への影響

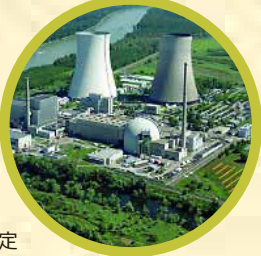
2011年3月11日の福島第一原子力発電所事故は、世界の原発政策／エネルギー政策に大きな影響を与えた。

特にドイツでは福島原発事故の後、大規模な反原発運動が高まり、ネッカーヴェストハイム原発からシュツットガルトまで45キロにわたった、デモの参加者たちによる「人間の鎖」が作られた。こうした反原発運動の高まりという動きもあって、メルケル政権は2010年9月に打ち出したばかりの原発維持政策を撤回し、2022年までに国内のすべての原発を段階的に廃止する方針を示しました。
（※ドイツ以外の欧州では、スイスが2034年までに5基ある原発すべてを廃炉にする方針を表明～水力利用への方針へ。イタリアは国民投票で「原発拒否」の立場を明確に表明。）

●ドイツの脱原発政策の推移（概略）

1998年の連立政権（ドイツ社会民主党と90年連合／緑の党）が、原発には受入れ難いリスクが伴っているという考えの下、当時のシュレーダー首相が電力会社と協議。結果、稼働開始から32年、平均12年以内に原発の閉鎖に関して合意。
しかし2009年にメルケル政権が成立し、脱原発政策は方向を転換。当時の連立政権は原発廃止政策の撤回をしたが、福島第一原発事故により、この決定が再度覆る。メルケル政権は、福島原発事故後に起こった反原発運動の圧力に抗いきれずに、すべての原発を2020年までに廃止するという以前の決定を受け入れ、8つの旧型の原発が2011年に廃止、9基の原発が2022年までに廃止されることが確定した。

- フィリップスブルク原子力発電所（訪問予定）**
●**沸騰水型原子炉：廃炉が決定**
1979年5/7に運転開始 → 2011年3/17運転終了
- 加圧水型原子炉：運転中**
1984年12/17に運転開始 → 2021年に運転終了予定



フランスの「おとぎの街」とドイツ「黒い森」の野外博物館

フランス・ストラスプール滞在中の自由行動時とドイツ・フライブルク滞在中の自由行動にオプションル・ツアーを実施します。
童話に出てくるような「おとぎの街」を思わせる水と木組みの街と「黒い森」シュバルツバルトの歴史を伝える野外博物館を見学します。
是非ともお楽しみください。

「黒い森」大自然と異文化を楽しむシュバルツバルトへの小旅行

総面積5180平方[＊]の広大な広さを誇るドイツの「黒い森」。隣接するフランスの影響を強く受け、ドイツとは異なる文化を有する。
シュバルツバルトの野外博物館を訪れ、緑豊かな自然の中にある古民家

- 日時：**11月12日**Ⓜ **13～18時頃**（約4～5時間）
- 料金：**8,800**円（※お一人様料金）
- 催行：**6**名様以上で実施
< **昼食・入場料・専用車・ガイド同行** 付 >

